

問1 地形図を用いた地域調査において、「旧取手宿本陣表門」のように、江戸時代に街道の拠点として発展した町の面影を残す建物は重要な手がかりとなります。このような、人馬の継ぎ立てや宿泊を担うために街道沿いに形成された町の形態を何と呼びますか。 (2024年 東京都公立入試 類似)

1. 宿場町 2. 門前町 3. 城下町 4. 鳥居前町

問2 沿岸国の海岸線（基線）から200海里以内の水域（領海を除く）として定義されている「排他的経済水域（EEZ）」において、沿岸国が持つ権利の説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 山口公立入試 類似)

1. 水産資源の漁獲や、海底にある石油・天然ガスなどの鉱物資源の探査、開発、管理を独占的に行う権利
2. 他国の船舶の航行や航空機の上空通過を一切禁止し、自国の領土と同様に完全に支配する権利
3. その水域を通行するすべての外国船舶から通行料を徴収し、沿岸国の法に基づき裁判を行う権利
4. 沿岸国の法律をそのまま適用し、他国の研究機関による海洋調査を理由を問わず一律に排除する権利

問3 日本の2万5千分の1地形図において、多くの人々が本を閲覧したり借りたりするために利用する公共施設である「図書館」を表現する地図記号は、どのような形状をしていますか。 (2015年 佐賀公立入試 類似)

1. 二重の四角形 2. 歯車のような形 3. 千のマーク 4. 家の中に杖が描かれた形

問4 地域の様子を調査する際、国土地理院が提供する「地理院地図」などのデジタル地図を利用すると、現在の標準的な地形図に加え、1970年代に撮影されたモノクロの航空写真を重ねて表示することができます。このように、同じ場所について異なる時期の情報を比較する主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉公立入試 類似)

1. その地域の地形の特徴から、地下にある地層の正確な堆積年代を特定するため
2. 都市化や開発にともなう土地利用の変化を、時系列に沿って具体的に把握するため
3. 古地図に記載された旧街道と現在の道路網を照らし合わせ、歴史的景観を復元するため
4. 標高の違いによる気温の差を算出し、その地域に適した農作物の種類を決定するため

問5 ある統計資料において、人口が1,300万人を超え全国で最も多い一方で、面積は全国で3番目に小さいという極めて高い人口密度を示す都道府県があります。この都道府県の名称と、その産業構造の特色として正しい組み合わせを選びなさい。 (2022年 島根公立入試 類似)

1. 東京都 — サービス業や情報通信業などの第三次産業が集中している。
2. 鹿児島県 — 畜産業が盛んで、豚や肉用牛の飼育頭数が全国有数である。
3. 北海道 — 広大な土地を活かした大規模な機械化農業が行われている。
4. 大阪府 — 臨海部を中心に、古くから重化学工業の拠点として発展した。

問6 2万5千分の1地形図における距離計算の仕組みについて、図上の長さが8cmである地点間の実距離を導き出す正しい手順と結果の説明はどれですか。 (2015年 佐賀公立入試 類似)

1. 図上の長さに25,000を掛け、単位をcmからmに換算して2,000mとする
2. 図上の長さに25,000を掛け、単位をcmからmに換算して20,000mとする
3. 図上の長さを25,000で割り、単位をcmからmに換算して200mとする
4. 図上の長さに2,500を掛け、単位をcmからmに換算して2,000mとする

問7 領海の外側に設定される「排他的経済水域」において、沿岸国に認められている権利の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)

1. その海域における漁業資源や海底の鉱物資源を、他国に優先して管理・利用できる権利
2. 領土と同じく国家の完全な主権が及び、他国の航空機や船舶の通過を一切禁止できる権利
3. 沿岸から12海里までの範囲に限り、他国の船舶から通行料を徴収できる権利
4. 公海と同じ扱いになり、どの国の船であっても自由に資源を採取できる権利

問8 地形図において、標高232.9メートルの佐和山山頂から市街地へ向かう斜面の地形を読み取る際、等高線の状態から判断できる内容として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 山口公立入試 類似)

1. 等高線の間隔が狭くなっている場所は、傾斜が急であることを示している。
2. 等高線の間隔が広がっている場所は、傾斜が急であることを示している。
3. 等高線が途切れて地図記号が置かれている場所は、標高が0メートルであることを示している。
4. 等高線が山頂に向かって凸状に曲がっている部分は、谷状の地形であることを示している。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 宿場町	江戸時代、幕府は主要な街道に一定の間隔で「宿場町」を設置しました。ここには公用の荷物を運ぶための人足や馬を交代させる「問屋場」や、大名が泊まる「本陣」、一般の旅人が泊まる「旅籠」などが集まっていました。取手宿は水戸街道の宿場の一つであり、現在も本陣の遺構が残ることで、かつての街道のルートや方位、距離を特定する際の重要な目印となっています。
問2	答え 1 水産資源の漁獲や、海底にある石油・天然ガスなどの鉱物資源の探査、開発、管理を独占的に行う権利	排他的経済水域（EEZ）は、沿岸国が資源を「排他的（独占的）」に利用できる権利を認めた水域です。この水域内では、魚介類などの水産資源や、海底に眠るメタンハイドレート、マンガン団塊といった鉱物資源の管理・開発について、沿岸国に主権に準ずる大きな権限が与えられています。一方で、外国の船舶の航行自体を禁止するものではない点が、領海とは異なります。
問3	答え 1 二重の四角形	地形図において、図書館は四角の中にさらに小さな四角を描いた「二重の四角形」の記号で表されます。選択肢にある他の記号について、歯車は「工場」、〒は「郵便局」、家の中に杖が描かれたものは「老人ホーム」をそれぞれ指しています。地図記号は、建物の外観やその施設を象徴する道具を簡略化したデザインが多く用いられています。
問4	答え 2 都市化や開発にともなう土地利用の変化を、時系列に沿って具体的に把握するため	航空写真は、建物や道路、農地の広がりといった地表の状況を詳細に記録しています。これらを現在の地形図や最新の画像と比較することで、かつての田畑が住宅地に変わった様子や、工業団地の造成過程といった「時系列（経年的）」な変化を客観的に分析することが可能になります。これは、地域の発展や課題を理解するための基本的な調査手法です。
問5	答え 1 東京都 — サービス業や情報通信業などの第三次産業が集中している。	人口が極めて多く面積が狭いというデータは、日本の首都である東京都の典型的な特徴です。その産業構造は、広大な農地を必要とする第一次産業の割合が極めて低く、政治・経済・文化の中枢として第三次産業が高度に集積しているのが特徴です。
問6	答え 1 図上の長さに25,000を掛け、単位をcmからmに換算して2,000mとする	地形図の縮尺計算では、図上の長さに縮尺の分母（この場合は25,000）を掛けることで実際の長さを算出します。8cmを25,000倍した結果は200,000cmですが、実距離をメートルで表す際は、1mが100cmであることを利用して単位を変換する必要があります。200,000 ÷ 100 = 2,000となり、2,000mが導かれます。桁数の間違いや、掛け算と割り算の混同に注意が必要です。
問7	答え 1 その海域における漁業資源や海底の鉱物資源を、他国に優先して管理・利用できる権利	排他的経済水域（EEZ）は、沿岸から200海里の範囲において、魚などの水産資源や石油・天然ガスといったエネルギー資源を、沿岸国が独占的に管理・活用できる権利を認めたものです。ただし、領海とは異なり、他国の船舶の航行や航空機の上空飛行などは認められています。
問8	答え 1 等高線の間隔が狭くなっている場所は、傾斜が急であることを示している。	等高線は標高の等しい地点を結んだ線であり、一定の標高差ごとに引かれます。そのため、線と線の間隔が狭いということは、短い水平距離で標高が大きく変化していることを意味し、実際の地形では急な斜面であることを示します。逆に、間隔が広い場所はなだらかな傾斜地であることを示しており、これを利用して土地の険しさを判断できます。